



建交労



2022年9月1日
 建交労神奈川県南支部
 2022年秋季年末闘争No.1
 2021年度推進ニュース⑩通算264号
 発行責任者 小島 茂

建交労第24回大会を越後湯沢で開催(8/27~28) 神奈川県南支部から大島書記長が代議員で出席!

建交労中央本部は8月27日~28日に第24回定期大会を新潟県の湯沢グランドホテルで開催しました(概要は中央本部8月31日付秋年末闘争・拡大月間推進ニュースNo.1別紙を参照)。神奈川県南支部からは大島書記長(神奈川県本部副委員長)が高橋県本部書記長らと参加しました。写真は組織拡大運動で最優秀賞を受賞した神奈川ダンブ支部の高橋書記長(左から3人目)と優秀賞の大島神奈川県本部副委員長(左から4人目)。



神奈川県本部44回委員会は9月4日/24回大会は10月2日に開催! 神奈川県南支部29回定期大会は10月30日一参加体制を確保しよう

神奈川県本部は、9月4日(日)10:00~12:00 かながわ労働プラザ(JR石川町駅から徒歩3分)で第44回委員会を開催します。委員会では第24回定期大会に向けた準備を中心に報告・提案・討論を行います。その第24回定期大会は10月2日(日)に開催します(時間・場所未定)。

また、神奈川県南支部の第29回定期大会は10月30日(日)です(時間・場所未定)。さらに神奈川県南支部の分会が加盟する横浜鶴見区労連、湘南労連の定期大会も順次開催されます。神奈川県南支部の分会・班は、支部定期大会の代議員選出や大会諸役員の選出・次期支部執行委員の立候補を早期に決定するとともに、神奈川県本部委員会・定期大会への委員・代議員出席をはじめ、各分会が加盟する地域・地区労連大会への結集を強めましょう。

9月11日(日)第3回横須賀気候マーチに参加しよう



地球の環境破壊・気候危機に危機感を持って再生可能なエネルギーへの転換、横須賀での石炭火力発電所建設中止を求め第3回気候マーチが9月11日(日)13:30から横須賀市のヴェルニー公園で開催されます。

行動の中心を担っているのはスウェーデンの女性環境活動家グレタ・トゥベルさんの活動に刺激されて立ち上がった10代・20代の女性です。次代を担う青年・子供・孫、その先の世代が生存できる地球を残すために各分会からの参加を呼びかけます。(詳細は別紙ビラを参照)

6月4日に開催した第2回横須賀気候マーチ



建交労

2022年8月31日 No.1

全日本建設交運一般労働組合 中央本部

2022年秋年末闘争・拡大月間推進ニュース

第24回定期大会をオンライン併用で開催 経済闘争を推進し、仲間の結集を強化しよう!

8月27日(土)～28日(日)の日程で、建交労第24回定期大会を新潟県湯沢グランドにて、オンライン併用で開催しました。主催者あいさつを行った角田季代子中央執行委員長は、「岸田政権はロシアの侵略戦争に便乗して、大軍拡・改憲を推進している。軍拡の財源は増税や社会保障制度の切り捨てに直結することは明らかである。」と指摘し、「故安倍元首相の国葬は



開会あいさつをおこなう角田委員長

国民大多数が実施を反対しており、強行は許されない。各社の世論調査でも内閣の支持率急落がそのことを示している。」「コロナ禍と物価高騰で日本経済が弱っている。学童の仲間は、政府予算を活用した自治体交渉を旺盛にとりくみ、今春闘で1万円以上の賃



沖縄県知事選勝利へ、機布とカンパを贈呈しました

上げ勝ち取った。いまこそ労働組合の力を発揮し、各職場・地域で賃上げ闘争を推進しよう。」と呼びかけました。

今大会は、コロナ禍での開催の為、会場内での感染防止を徹底し、大会日程を短縮し、オンライン併用で開催しました。初日の廣瀬書記長による2022年度運動方針等の提案にもとづき、1日目21人、2日目16人「計37人」が発言。(文書発言3人) 討論

では「春闘など経済闘争の推進、組織拡大、職場争議、改憲阻止・反核平和活動の推進、原発なくせ」など、各県本部・支部、業種部会や青年部の仲間たちが元気に語られ、コロナ禍や物価高騰・円安を乗り越える為に経済闘争を各職場、地域で推進しました。建交労に結集する仲間の要求を大切にすること、4つの指標を軸に日常活動を強化することに確信を深め、運動方針は補強されました。全ての方針を採択し、新年度役員を選出、スト権を確立しました。最後に角田委員長の発声で団結がんばろうを三唱し、大会を終えました。(※定期大会の詳細は建交労雑誌版10月号に掲載されます。)



横須賀 第3回 気候マーチ

9月11日 13時半 集合開始 14時 マーチ開始



集合場所 ヴェルニー公園

京急汐入駅から徒歩5分
JR横須賀駅から徒歩5分

どなたでもご参加いただけます。
小雨決行/感染症対策を徹底して
行います。
熱中症にお気をつけてお越しくだ
さいませ。マイボトルをご持参の
うえ、お越しくださいませ。



私たちは、深刻な気候変動問題を解決する最後の世代だと言われていま
す。今から科学に基づく行動をすれば、気温の上昇を産業革命前から1.5℃
の上昇に抑えることができ、危険な気候を回避することができます。

そのためには、CO₂など温室効果ガスの排出を大幅に削減をする必要があ
ります。CO₂排出の最大の原因である化石燃料から、太陽光や風力といった
再エネに切り替えていくとともに、省エネでエネルギーの無駄遣いをなくす
ことが必要です。CO₂の排出は、気候変動を悪化させ、多くの人たちの生命
や財産を奪ってしまいます。私たちは、地球に住むすべての人々が公平で気
候災害をできるだけ回避する社会を望み、将来世代にも大きなツケを残さ
ないような社会をめざして、多くの人たちと連帯していきたいと考えます。
みんなが笑顔でいられる社会の実現に向け、横須賀から発信していきます。
ご参加をお待ちしています。

タイムスケジュール

11:00~

これからの未来を考える
「対話」の時間

& 体験コーナー

13:30~ マーチ集合開始

14:00~ マーチ開始!

憲法改悪を許さない全国署名

行き詰まって相次いで政権を投げ出した安倍・菅政権をひきついだ岸田文雄政権は、2021年の総選挙で改憲発議に必要な3分の2の議席を手に入れました。岸田首相は中国や朝鮮を念頭に違憲の「敵基地攻撃能力の保有」となえ、歴代政権がかろうじて維持してきた防衛費の対GDP比1%以内の原則をも放棄して2%以上を主張するなど、米国をはじめ欧米諸国との軍事協力を強化し、「戦争する国」づくりを進め、アジアの緊張を高めています。しかし、この道の障害になるのが憲法9条など、日本国憲法の理念です。

改憲派は次の参議院選挙をにらみながら、9条に自衛隊を書き込むこと、緊急事態条項を創設することなどを内容とする自民党改憲4項目案をベースにして、国会の憲法審査会での改憲案づくりを急ごうとしています。

私たちは国会が改憲の発議をすることを許さず、すべての戦争に反対し、憲法を生かし、平和と民主主義、人権、環境、暮らし・医療・公衆衛生向上などを実現する政治を求めます。

【請願事項】

- 1、自民党が提唱する憲法9条に自衛隊を書き込むことなどの改憲4項目に反対します。
- 2、憲法を生かし、平和と民主主義、人権、環境、暮らし・医療・公衆衛生などの向上を実現する政治を求めます。

名 前	住 所

※いただいた署名は国会請願と首相への要請以外には用いません。

呼びかけ団体 9条改憲NO! 全国市民アクション

ホームページ: <http://kaikenno.com> メールアドレス: info@kaikenno.com

ツイッター twitter.com/no9kaikenno
インスタグラム [instagram.com/9jyokaikenno/](https://www.instagram.com/9jyokaikenno/)
フェイスブック [facebook.com/kaikenno/](https://www.facebook.com/kaikenno/)



連絡先

- 戦争をさせない1000人委員会 (☎03-3526-2920)
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2-11 連合会館内
- 憲法9条壊すな! 実行委員会 (☎03-3221-4668)
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3-3-3 太陽ビル402市民ネット内
- 戦争する国づくりストップ! 憲法を守り・いかす共同センター (☎03-5842-5611)
〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館4F
- 九条の会 (☎03-3221-5075)
〒101-0065 東京都千代田区西神田2-5-7-303

取り扱い団体

内閣総理大臣 殿

唯一の戦争被爆国 日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名

いま世界では、核兵器禁止条約の発効から核兵器廃絶へとすすもう、という声広がっています。多くの国ぐにが被爆者の声に耳を傾け、「核兵器による安全」ではなく、「核兵器のない世界による安全」を選択し、核兵器禁止条約を支持し、参加しつづけます。

唯一の戦争被爆国である日本政府は、核兵器廃絶の先頭に立たなければなりません。

国内の世論調査でも、日本が核兵器禁止条約に参加すべきとの声は7割を超えています。日本政府がこの被爆者と国民の声に誠実に応えることを訴えます。

私は、日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求めます。

名 前	住 所	募 金

この署名は、2020年10月29日、被爆者をはじめ各界・各層の代表126氏によびかけによりスタートしました。日本政府に提出します。ご記入いただいた個人情報は、この要請目的以外には使用しません。

【取扱団体】

連絡先：署名事務局（原水爆禁止日本協議会）
〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4
電話：03-5842-6031